

情報漏洩のあらゆるリスクに トータルソリューションでお応えします

三菱情報漏洩防止ソリューション

近年、企業の機密情報や個人情報が外部へ流出する事件が多発しています。情報漏洩は企業の信用を低下させるばかりか、損害賠償や株主訴訟へ発展する恐れがあり、経営上大きなリスクとなっています。

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社 (MDIS) では、そうした時代のニーズを受け、情報漏洩に関するあらゆるリスクをカバーする「三菱情報漏洩防止ソリューション」の販売を行っています。情報システムのセキュリティ対策と入退室管理システムを統合したソリューションとして各方面から注目を集めており、既に一般企業をはじめ、医療機関や自治体などにも採用されています。今回は、本ソリューションの開発に携わった三菱電機株式会社情報技術総合研究所 情報ネットワークシステム部 INシステム第2チームリーダーの近藤誠一氏と、製造・販売を担当するMDISセキュリティ・ネットワークソリューション部 インターネットセキュリティセンター 第三課専任の二井正雄氏に、製品の特長やセキュリティシステムを構築するうえでのポイントなどについて語っていただきました。

想定されるリスクに対応した セキュリティ製品群を用意しています

PCの盗難やデータの持ち出し、不正アクセスなど、情報漏洩のリスクは企業内のいたるところに存在します。MDISが提供する「三菱情報漏洩防止ソリューション」は、情報システムのセキュリティ対策と入退室管理システムを統合し、情報漏洩のリスクに柔軟かつ確に対応することを可能としたソリューションです。

本ソリューションは、ユーザ情報やアクセス権を一元管理する統合管理システムを中核とし、国内トップシェアを誇る三菱統合ビルセキュリティシステム「MEL-SAFETY」や、業界最高水準の暗号技術「MISTY」を活用したセキュア情報格納サーバなどのセキュリティ製品群を用意。各製品を連携・組み合わせることで、強固なセキュリティシステムを簡単に構築することができます。

またMDISでは、単に製品を提供するだけでなく、ISMS (情報セキュリティマネジメントシステム) 認証取得を支援するための標準テンプレートの提供や、取得支援コンサルテーションも実施。個人情報保護法や不正競争防止法などが施行される中、不測の事態に法律面からも対処できるように総合的にサポートしています。

製品間を密に連携させ 利便性を追求しました

一般に、セキュリティシステムは部門単位で導入する場合が多く、製品間の連携を図るには膨大なコストが必要です。運用・管理の面でも、社員の入退社や人事異動があるたびに再設定する手間があり、大きな負担がかかるとされていました。

「三菱情報漏洩防止ソリューション」は、そのような課題を解決するため、柔軟に機能連携が可能なセキュリティ製品群を用意、トータルソリューションでお応えしています。入退室の認証情報と情報システムへの認証情報、ログ情報を一元管理しており、セキュリティと利便性の両方を同時

に高めることができます。

例えば、入退室からPCへのログオン、ファイルへのアクセス制御など、あらゆるシーンの認証を1枚のICカードでカバーすることが可能です。

統合管理システムでは、個人情報・属性情報・アクセス権などの情報を階層立てて管理しています。所属情報に変更を加えると、それに伴いアクセス権も変更されるよう設計されているので、運用・管理の負担も大きく軽減することができます。

セキュリティ関連の製品は、ROI (Return On Investment: 投資対効果) が見えにくいと言われていますが、運用・管理コストの低減が期待できる本ソリューションは、ROIの観点からも高い効果が期待できます。

エンジニアの ここが 言いたい セキュリティ技術を結集し 製品間を密に連携

「本ソリューションの大きな特長は、すべての製品が有機的に結びついている点です。ICカード1枚のみで入退室や情報システムへの認証ができ、さらに、ログ情報を一元管理できるため、セキュリティと利便性の高い情報漏洩防止が可能です。また、同時に運用・管理コストの低減にも効果を発揮します」

三菱電機株式会社 情報技術総合研究所
情報ネットワークシステム部 INシステム第2チームリーダー
近藤 誠一氏



目的に応じて柔軟な 導入・設定が可能です

PCのデスクトップセキュリティから、社員証ICカードを利用した全社規模のセキュリティシステムまで、目的や規模に応じて柔軟に導入・拡張できるのも本ソリューションの大きな利点です。認証システムについても、ICカード・指紋・パスワードなど多様な手段を用意しており、セキュリティレベルに応じて自由に選択が可能。「情報漏洩に備えてIT投資を行いたい、最初から大きな金額はかけられない」という企業ニーズにも対応できます。

また、ユーザに応じて、ファイルの閲覧やメディアへのコピー、印刷、画像キャプチャなど、アクセス権をきめ細かく設定することができるのも、当ソリューションの強みです。利用権管理ソリューション「DROSY」やファイル暗号ソフトウェア「CRYPTOFILE」など、多様な製品を取り揃えており、組み合わせで使用することで、単純に暗号化するだけでなく、管理対象に合わせて最適な情報漏洩対策が行えます。

エンジニアの ここが 言いたい セキュリティ対策の ベストフィットを提供

「リスク対応はお客様によって千差万別。セキュリティ製品は、導入すればそれで解決できる訳ではありません。お客様のビジネスの状況や要件に応じて最適化させることが重要です。MDISはセキュリティ対策のエキスパートとして、お客様のご要求に最大限にお応えします」



三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社
セキュリティ・ネットワークソリューション部
インターネットセキュリティセンター 第三課 専任 二井 正雄氏

将来にわたって情報漏洩の リスクからお守りします

情報漏洩の約80%は、内部関係者の過失や悪意によるものと言われています。機密情報の流出を防ぐには、セキュリティシステムの構築のみならず、管理体制をも含めたセキュリティマネジメントの実施が必須となります。

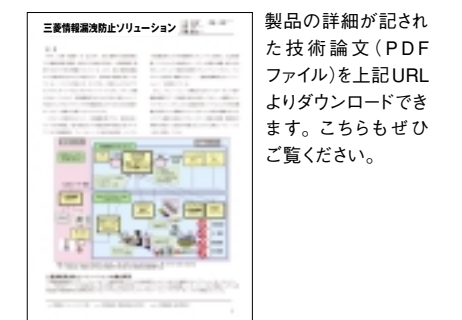
本ソリューションでは、単に製品の提供だけでなく「どのデータに、どの程度のセキュリティをかけるのか?」といったコンサ

ルティングまで一貫した体制で行っています。また、将来にわたって情報漏洩のリスクに対応できるよう、持続的・継続的なシステムの拡張もサポートしています。

企業が抱える機密情報や個人情報の漏洩は、ブランド力の低下のみならず、損害賠償や株主訴訟へ発展する恐れがあります。「情報漏洩のリスクに対してどれだけ準備をしているか」といったことが、その企業の信頼を決定づける指標となりつつあります。

情報セキュリティへの関心が高まる現在、ISMSを取得する企業は、今後ますます増加することが予測されます。それに伴い、企業のセキュリティシステムに対する要求も、さらに高まっていくでしょう。MDISでは、これからの多種多様なニーズにお応えできるよう「三菱情報漏洩防止ソリューション」の機能強化を図るとともに、新たな製品の開発にも積極的に取り組んでいく考えです。

製品に関する詳細は
<http://www.mdiss.co.jp/security/>
製品に関する技術論文は
<http://www.mdiss.co.jp/company/index7.html>



製品の詳細が記された技術論文 (PDFファイル) を上記URLよりダウンロードできます。こちらもぜひご覧ください。

システム構成例

